

## 「記事」の投稿手引き

### A. 記事の概要

#### 1. 目的と内容

「野球科学研究」の「記事」では、指導者や選手などの実践者あるいはジャーナリストなど、研究活動の経験のない会員または非会員が投稿可能なように、必ずしも学術的方法論に準拠していないものでも投稿を受け付けます。但し、筆頭著者は会員である必要があります。

#### 2. 記事の審査

投稿された記事は、編集委員会によって審査が行われます。掲載の可否および掲載時期の判断は、編集委員会が決定します。審査の過程において、審査員から加筆や修正を求められることがあります。その場合には、速やかにそれらに応じた加筆・修正を施すか、反論すべき場合には反論することが求められます。

### B. 記事の書き方

#### 1. 題目

題目は、記事の内容が的確に理解できるものとし、副題をつける場合には、コロン（:）の後に続けます。

#### 2. 氏名および所属機関

所属機関は、省略せず正式名称を記載し、その役職や地位等の名称も記載します。  
例)

<野球チームの指導者または選手の場合>

- ・川藤 幸一（学校法人二子玉川学園高等学校・野球部監督）
- ・霧隠 主将（大学法人東京大学・野球部主将・捕手）
- ・凡田 夏之介（日本プロ野球機構・文京モップス・投手）
- ・石坂 耕介（大阪日曜早朝野球リーグ・西商店街ドリームズ・サード）

<間接的に野球に携わっている場合>

- ・結城 直樹（毎朝新聞・スポーツ担当記者）
- ・朝倉 南（日本少年野球連盟・鯨ゴールデンロワーズ3年・保護者）

#### 3. 抄録

実践レポートにおいては、記事の概要および結論が明確にわかるように、400字以内の和文抄録を記載します。コーチング・ノート、読者からの質問には、抄録は不要です。尚、実践レポートが和文の場合には、希望に応じて、論文の最終頁に英文抄録を加えることができます。

#### 4. キーワード

実践報告においては、3～6語のキーワードを記載します。このキーワードには、題

目中有る単語を含めないようにします。キーワードは、記事内容を的確に示すもので、野球競技で慣用的に用いられる語を含め、検索に役立ち得るものとします。

## 5. ランニングタイトル

ランニングタイトルとは、記事内容を的確に示した短縮したタイトルのことをいいます。実践報告においては、キーワードの後にランニングタイトルを記載し、仮説提起、Letter to the Editor においては、氏名および所属機関の後に、ランニングタイトルを記載します。ランニングタイトルは、和文論文では全角 20 字以内、英文論文では半角 40 字以内とします。

## 6. 本文

### (1) 符号

1. 句読点は、全角のコンマ (,) ピリオド (.) とします。
2. 中黒丸 (・) は、相互に密接な関係のある文字や語句を結ぶ際に用います。
3. ダッシュ (—) は、期間や区間を示す場合に用い、波ダッシュ (～) は原則として用いませぬ。
4. 引用符は、和文の場合には「」, 英文の場合には“” を用います。
5. 省略符 (・・・) は、文の一部を引用する場合に用い、和文の場合には 3 点リーダー (・・・), 英文の場合には下付きの 3 点リーダー (...) を用います。

### (2) 単位

計量単位は、原則的に、国際単位系 (SI 単位系) を用いるものとする。

例) 時間 : s (秒), 距離 : m (メートル), 重さ : kg (キログラム) など

### (3) 略号

一般的に利用される略号(例えば、単位として利用される m, kg, N, rad, Hz などや、数学・統計・数学で利用される sin, log, SD, ANOVA など、あるいは日常語として利用されている IQ, Mr., Ms., vs., Vol., MLB など) 以外の略号を用いる場合には、初出時に略さずに明記し、その後ろに ( ) 内に略号を記載します。

例) 動作時間 (以下, MTとする)

### (4) 章立て

原則として、章立てする際には、下記の符号をつけ、それぞれに見出し語を付けます。ただし、見出し番号は、I. II. III. … → 1. 2. 3. … → 1) 2) 3) … → ① ②③…の順とします。

### (5) 引用

記事の中で先行研究や文献を引用する場合、引用した文献や発表等の著者名と発行年の形式で明記します。また、引用した文献や発表等の情報を、本文の最後に著者名のアルファベット順に一括して文献リストに記載します。

例)

<著者が 1 名または 2 名の場合>

- ・重く感じるボールは,...といわれており (星・花形, 1973),
- ・丸井 (1977) は, キャプテンのあり方について...
- ・characteristics of underhand pitchers were ... (Mizuhara, 1985),
- ・According to Tonoma & Iwaki (1995), batting is a kind of rhythmic movement ...

<著者が3名以上の場合>

- ・野球道とは...である (谷口ほか, 2000).
- ・上杉ほか (2005) によると, 双子の野球人口は,...
- ・MLB was founded and developed ... (Shigeno, et al., 2011)
- ・Ozma said, "Japanese baseball has been adopted sophisticated tactics and ..."

<複数の文献を列記する場合>

列記する順番は, 和文, 英文, アルファベット順とし, セミコロン (;) でつなぎます.

- ・野球の魅力は, 変化球と本塁打にあるとする説 (番場, 1980; 二階堂・犬島, 2008; 一発ほか, 1994; Doujima & Abashiri, 2011; Sawamura, et al., 2014; Yamada, 1978)

<同一著者の複数の文献を列記する場合>

列記する順番は, 年代順とし, 同一年に複数の論文が発表された場合には, 年号の後ろにアルファベットの小文字 (a,b,c, ...) を付加します.

- ・それに対して,...と特訓の意味について述べている (五十嵐, 2001, 2004a, 2004b)
- ・Kageura (1976, 1980a, 1980b, 1991) demonstrated that ...

<WEBサイトを参考文献とする場合>

著者名と発行年の形式で標記します. 発行年やファイル名が特定できない場合は, (著者名, online) と表記します.

- ・五十嵐 (2001) の調査では,...
- ・との報告がある (プロ野球データ Freak, online).
- ・All the participants was reported by Reggie (2000).
- ・According to National League Baseball (NLB.com, online), ... ..

## (6) 注記

本文や図表に含めて説明することが適切でなく, 補足的な説明が必要な場合に用いることができます. 注をつける場合は, 本文の該当箇所に<sup>注1)</sup>, <sup>注2)</sup>のように上付きで記載し, 本文と文献リストの間に「注記」と見出し語を付け, 一括して番号順に記載します.

## 7. 図表

図表の中で用いるフォントは, 和文の場合明朝体 8 ポイント, 英文の場合 Arial 体 9 ポイントを目安にする. 図表の中で統計学上の有意水準を示す場合は, アスタリスク (\*, \*\*, \*\*\*) を用います.

## 8. 文献リスト

(1) 掲載順序は、筆頭著者のアルファベット順とし、同一著者の場合、発表年順とします。

(2) 著者名は、和文の場合には、中黒丸（・）でつなぐ。英文の場合には、2名の場合には、&でつなぎ、3名以上の場合には、コンマ（,）でつなぎ、最終著者の前に&を入れます。

1つの文献の記載順は、原則的に、以下の通りです。

著者名（発行年）論文名．誌名，巻(号): 開始ページー終了ページ．

<学術雑誌の記入例>

宇野球一・上野球二・明智球七（2004）沢村栄治のボールの謎を解き明かす．日本野球科学研究，1(1): 1-11.

Sanada, I. & Kure K. (2001a) How to steal base: Ninja in baseball. Journal of Professional Baseball, 89: 23-45.

<編集書・監修書の記入例>

著者名（発行年）論文名．編集者または監修者名．（編）または（監）誌名，出版社名：発行地，pp.開始ページー終了ページ．

三橋廉・阿部隆也（2007）読みの表と裏．藤村甲子園ほか（編）青少年の野球．野球出版社：大阪，pp.89-108.

Yamashita, T. & Tatsumi, R. (2001) Publication for baseball science. Nakanishi, K., et al. (Eds) Foundation system of baseball business, World Baseball Publications, ltd.: Cooper's Town, pp.18-45.

<翻訳書の記入例>

原著者の姓をカタカナ表記し，その後にコロン（:）をつけて訳者の姓名を記載します．訳者が3名以上の場合には，筆頭訳者だけを記入した後に「... ほか訳」と記載します．なお，原著の書誌データは著者が必要と判断した場合に最後に< >内に記します．

ギブソン：茂野大吾ほか訳（2010）日本の野球とアメリカの野球．全日本野球書房：東京，pp.56-78．<Gibson, J.(2008) Comparison study between American baseball and Japanese baseball. Baseball Books: New York. >

<WEBサイトの記入例>

WEBサイトなどを参考文献とする場合，URLの変更，記載内容の変更，サイトの閉鎖などの問題があります．そのため，可能な限り同じ情報が参照可能な公刊物（学術雑誌等）がないことを確認してください．また，内容の適切な保存（当該ページのプリントアウト等）を行った上で用いてください．文献表には「著者名（発行年）WEBページの題目，WEBサイトの名称，URL，（参照日）」をできる限り詳細に記載してください．

Baseball Stadium（2006）2007年プロ野球シーズンデータ予想．<http://www.>

basaeball.jp/2006/ (参照日 2006 年 1 月 1 日) .

Data Colosseum (online) Stats of pitchers. <https://www.datacolosse/stats/pitcher/>  
(参照日 2016 年 12 月 3 日)

附則

- ・本手引きは, 「野球科学研究 (Journal of Baseball Science)」 投稿規程が公示された日より施行する.